

### 3. これまでの取組内容と進捗状況

- 減災対策における取組の実施状況(5カ年の取組)
- 流域治水プロジェクトにもとづく実施状況について

# (1) 1級水系流域治水プロジェクトに基づく 各種対策のフォローアップについて

※各構成員にて今年度実施いただいた取り組み内容及び次年度以降の取り組み内容の御報告と各種対策の代表事例をご紹介します。

## 幾春別川外地域部会

- 札幌開発建設部
- 岩見沢市、美唄市、三笠市  
新篠津村、月形町
- 空知総合振興局
- 石狩振興局
- 札幌管区気象台
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所

札幌開発建設部

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容		

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所



# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道掘削の実施	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 洪水氾濫を防ぐ対策として、石狩川の河道掘削を実施
- グリーンインフラを意識して、掘削形状を工夫してたまり環境を形成、ヨシ原等を主体とした草地環境の形成を実施中

実施前



実施後



# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	河道内樹木の伐採	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 洪水氾濫を防ぐ対策として、石狩川の河道樹木の伐採を実施
- 伐採は、採取した樹木をバイオマス燃料や製品の原料などとして活用する企業や住民に広く公募を行う「公募伐開」を実施

### 伐採状況



# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	(概ね5年で実施する取組について)
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	北村遊水地の整備	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所



■ 盛土工(囲ぎよう堤)



■ 盛土工(囲ぎよう堤)



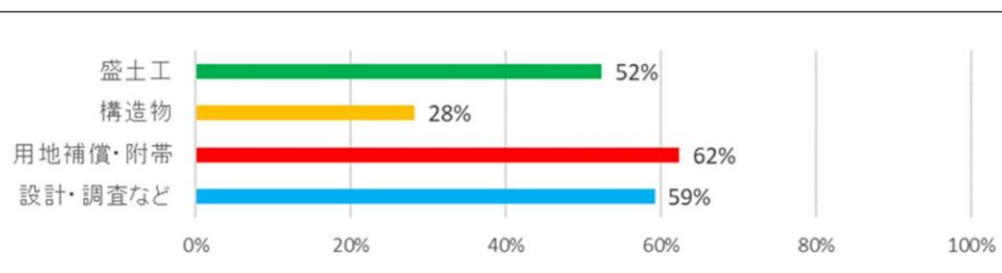
■ 盛土工(周囲堤)



■ 排水門



## ■ 事業進捗率(全体)



## ■ 事業工程概要

項目	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	備考
盛土工	[Progress bar from H24 to R12]																		周囲堤、囲ぎよう堤、樋門など	
構造物	[Progress bar from R5 to R12]												[Progress bar from R8 to R12]						排水門、越流堤など	
用地補償・附帯	[Progress bar from H24 to R12]																		用地補償、補償工事など	
設計・調査など	[Progress bar from H24 to R12]																		設計・調査など	



# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	小学生を中心とした防災教育を引き続き実施	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 岩見沢市立南小学校4年生を対象に川の防災教育を実施
- 「川の流域」「川の形の歴史」「ダムの目的」についての授業を実施。クイズや動画を用いて、川の水がどこから集まるのかや、新桂沢ダムが持つ役割について解説し理解を促した

### 実施内容

みんなのアクション

#### 岩見沢市内の小学校で防災教育

2025.12.12.

by 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所

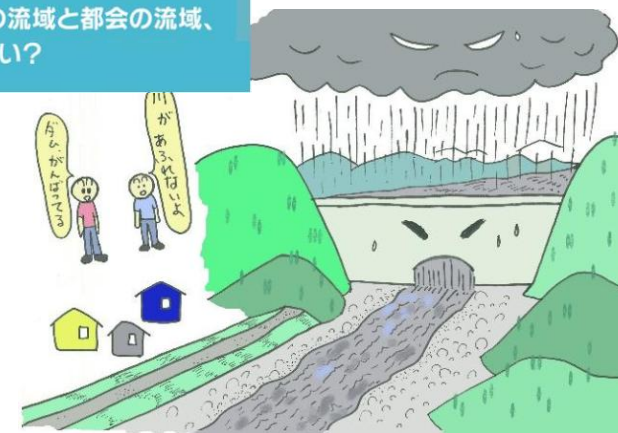


※全国流域治水MAP HPより

### 実施内容



※動画：雨水の行方と地面の様子



# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	岩見沢市防災訓練に参加	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 降雨体験装置の活用やパネル展示を行い、啓発活動を行った

### 実施内容

みんなのアクション

REPORT

#### 岩見沢市内で市民参加による防災訓練

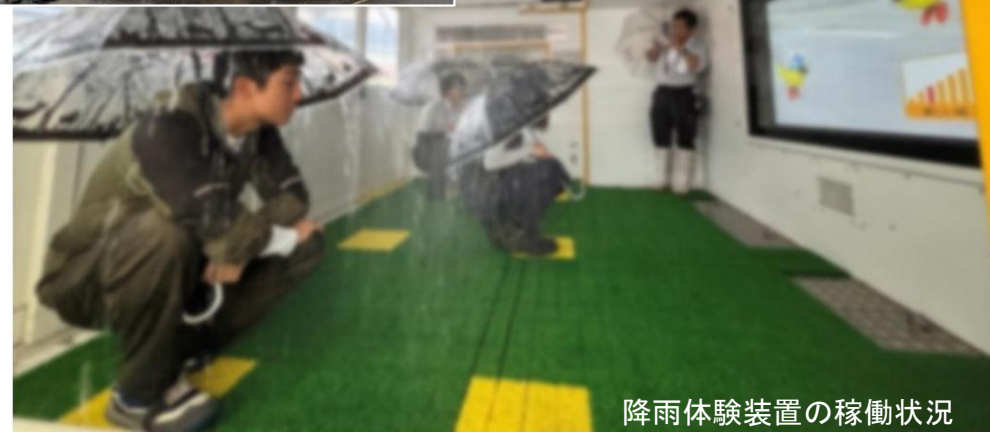
2025.12.12.

by 札幌開発建設部 岩見沢河川事務所



※全国流域治水MAP HPより

### 実施内容



降雨体験装置の稼働状況

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	排水ポンプ車操作説明会を開催	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## ■令和7年度 取組内容

- 旧北村排水機場において、地元消防団等に当事務所配備の排水ポンプ車の操作説明会を行った

### 実施内容



排水ポンプ車の操作説明

### 実施内容



ポンプ車の排水状況

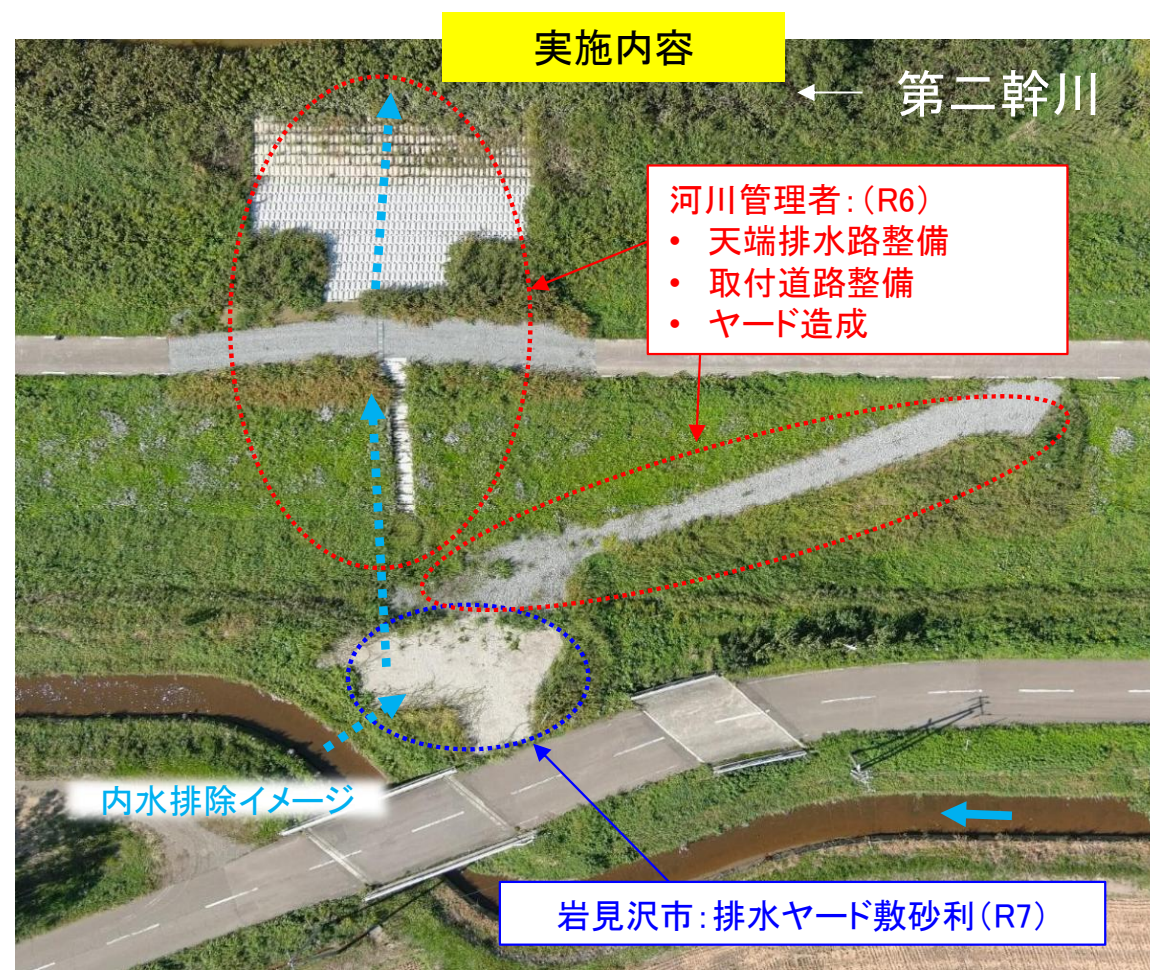
# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	排水作業ヤードの造成（岩見沢市と協同）	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 第二幹川において、内水排除のための作業ヤードを岩見沢市と協同で造成した



河川管理者施工完了

岩見沢市施工状況(敷砂利)

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	農機具待避ヤードの造成	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 第二幹川及び美唄川において、洪水時の農機具待避ヤードを造成した

実施前



実施後



**退避を可能とする**  
「退避ヤード造成」(レジリエンスベース)

河川事務所

- 被災時における農作業機器等の退避および管理車両等の通行を妨げないためのヤード造成。
- 掘削残土を有効活用したヤード造成

自治体

- 造成箇所へのアクセス性確保のための道路整備など。

次年度は、完成に向けて植生工及び天端敷砂利を実施予定。  
また、運用に向けて、地元広報誌への掲載や看板設置等により地域住民への周知を図る。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	流域治水・田んぼダム推進PR	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 岩見沢市広域協定運営委員会で主催する、農村コミュニティ強化のためのイベント「ともに考える暮らしと農業」にて、田んぼダムや治水事業のPRを行うことで流域治水の推進を行った

### 実施内容



企業ブースによるパネル展示

### 実施内容



流域治水の取組紹介

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	ワンコイン浸水センサの設置	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

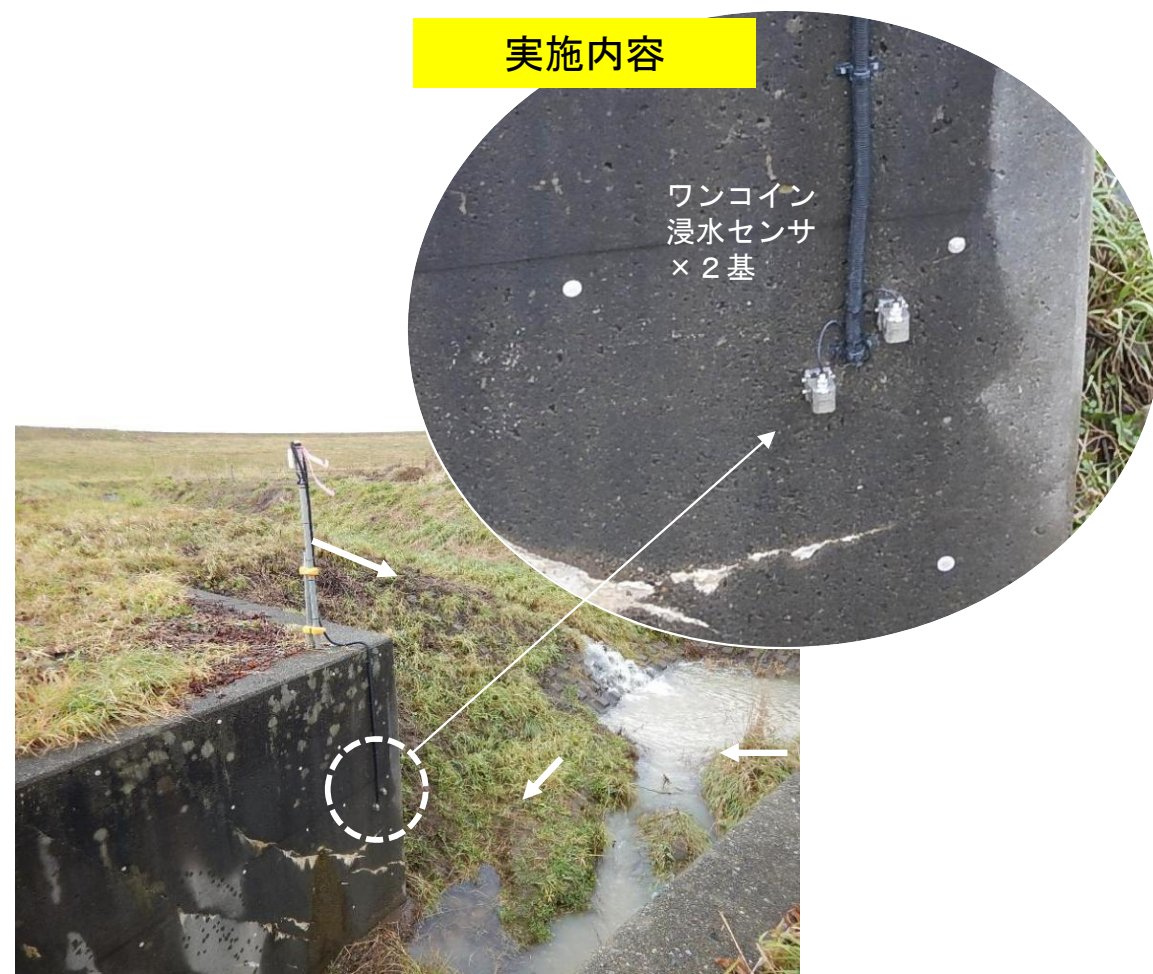
## 令和7年度 取組内容

- 内水が浸水しやすい石狩川と美唄川の合流点部において、樋門呑口部にワンコイン浸水センサを設置

実施内容



実施内容



# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	地域防災力向上（次の一手）の取組	

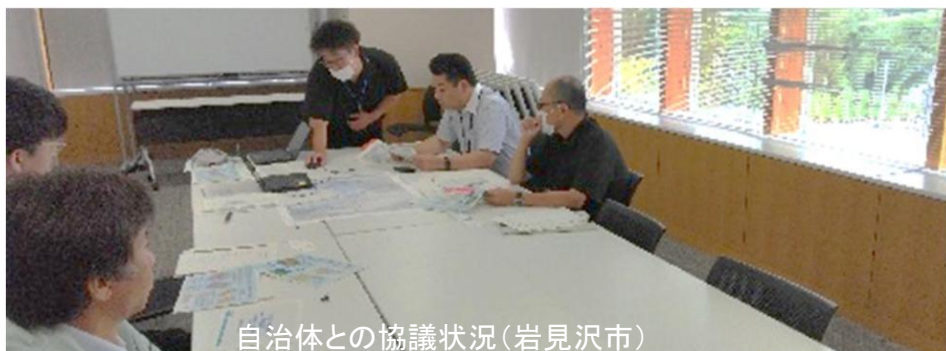
実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 流域自治体に関し、流域治水・減災対策の取組を更に推進するため、河川管理者より「次の一手」となるメニューを提案

### 実施内容

- 岩見沢市：防災訓練用広報パネル作成
- 美唄市：まるごとまちごとHM設置計画作成
- 月形町：浸水AR写真作成
- 三笠市：要配慮者施設避難訓練のシナリオ作成
- 新篠津村：浸水AR写真作成



自治体との協議状況(岩見沢市)



※浸水AR写真作成  
(新篠津村)

提案内容は、次年度の自治体で開催する訓練などで活用するほか、引き続き来年度も「次の一手」に関する提案を行っていく。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	まるごとまちごとハザードマップ周知の支援（美唄市と協同）	

実施主体：  
札幌開発建設部  
岩見沢河川事務所

## 令和7年度 取組内容

- 「次の一手」となるメニューとして、まるごとまちごとハザードマップの設置箇所（案）を提案

### 公園設置案（全体図）



### 実施内容



そう てい しん すい しん  
**想定浸水深**  
Flood Water Depth (Projected)

この場所は〇〇川が氾濫すると  
3.0m浸水する可能性があります

美唄市 / BibaiCity R〇〇〇

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業用ダムの活用（貯水位運用）	

実施主体：札建農業  
(幾春別川地域部会)

## 令和7年度 取組内容

- R7年度においては、農業用ダムの貯水位運用（貯水位低下）を行い、洪水時の貯留機能の役割を發揮し、「流域治水」の推進を図った

### 実施前

#### 幌向ダム



【貯水位運用前】  
6月中旬の状況

### 実施後

#### 幌向ダム



【貯水位運用】  
8月1日から8月31日 EL=138.00m以下に貯水位低下

次年度に向けて引き続き、農業用ダムの貯水位運用を図る。

岩見沢市、美唄市、三笠市  
新篠津村、月形町

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：岩見沢市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町会や各種団体への出前講座による防災教育の実施</li> <li>・ 小中学校における防災チャレンジ(小中学生を対象とした防災講話や防災資機材の組立て)の実施</li> <li>・ 市内在住の防災関係有資格者を対象に会議や研修会を実施</li> </ul>	

## 令和7年度 取組内容

- ・ 出前講座、防災関係有資格者連絡会議、市民参加による防災訓練を実施した。

### ○出前講座の実施（令和7年度12月末現在）

市民の防災意識向上のため、ハザードマップの見方や避難のタイミング、防災情報の伝達手段についての防災講話や、非常持出し品の紹介、段ボールベッド、段ボール間仕切り、簡易トイレなどの避難所で使用する資機材の組立て・使用体験を実施した。

#### ・ 防災チャレンジ（小・中学校等での出前講座）

##### 1. 岩見沢高等養護学校（全学年）

日時：6月17日（火）14時10分～15時30分

会場：岩見沢高等養護学校

参加者：99人

##### 2. 緑陵高等学校（全学年）

日時：9月22日（月）9時45分～12時40分

会場：緑陵高等学校

参加者：592人

	実施回数	参加人数
町会・自治会	15回	593人
防災チャレンジ	9回	1,365人
企業・団体	4回	55人
計	28回	2,013人



出前講座（町会・自治会）



出前講座（企業・団体）

3. 志文小学校・メープル小学校・清園中学校

日時：9月25日（木） 9時35分～11時25分

会場：清園中学校

参加者：109人

4. 幌向小学校・豊中学校

日時：10月1日（火） 13時20分～15時10分

会場：豊中学校

参加者：216人

5. 南小学校（4年生）

日時：10月2日（水） 10時30分～12時10分

会場：南小学校

参加者：57人

6. くりさわ学舎（1～6年生）

日時：11月7日（金） 11時35分～14時25分

会場：くりさわ学舎

参加者：115人

7. 岩見沢小学校（4年生）

日時：11月14日（金） 10時30分～12時00分

会場：岩見沢小学校

参加者：44人



防災チャレンジ  
（段ボールベッド組立体験）



防災チャレンジ  
（車いすトイレ体験）



防災チャレンジ（簡易トイレ体験）

## 8. 美園小学校（5年生）

日時：11月19日（水）13時20分～14時55分

会場：美園小学校

参加者：62人

## 9. 第一小学校（4年生）

日時：11月28日（金）13時30分～15時05分

会場：第一小学校

参加者：71人

## ○防災関係有資格者連絡会議の実施

市内在住の防災士などの防災関係有資格者を対象に、地域の防災リーダーの育成及び防災関係有資格者と地域との連携強化を図るため、令和元年度より会議を実施している。市内を5ブロックに分けた地域別の会議を基本として実施しており、令和4年度からは、有資格者の防災に関する知識の向上やスキルアップを目的に講師を招き研修会を実施して防災活動に対する意識高揚を図っている。

令和6年度からは、女性の視点に配慮した備蓄品の整備や避難所運営などの取組みの充実化を目的とした意見収集などのため、女性の有資格者を対象とし、女性会議を実施している。



防災チャレンジ（水消火器訓練）



防災チャレンジ（煙体験）



防災関係有資格者女性会議

## ○市民参加による防災訓練

災害協定締結企業・防災関係機関等の協力のもと体験型の各種訓練を実施することにより、地域防災力の向上と市民の防災意識の高揚を図るために実施している。

日 時：7月26日（土） 9時00分～11時30分

会 場：日の出小学校

参加機関：22機関

参加人数：90人



市民参加による防災訓練  
（福祉用具体験）



市民参加による防災訓練  
（降雨体験）



市民参加による防災訓練  
（はしご車搭乗体験）



市民参加による防災訓練  
（炊き出し訓練）

令和8年度においても、継続して出前講座、防災チャレンジ、防災関係有資格者会議を実施予定。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	水害から地域を守る治水対策	

実施主体：美唄市

## 令和7年度 取組内容

・河床浚渫や雑木処理などの治水対策を実施し、洪水氾濫の防止・軽減に取り組んだ。

実施前

実施後

南一の沢川(南美唄町仲町地区)



令和8年度についても、河川の流下能力を高めるための浚渫等を実施し、洪水被害の軽減を図る。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発
対策内容	水害から地域を守る治水対策と減災に向けた自助・共助の取り組みの推進	

実施主体：美唄市

## 令和7年度 取組内容

- ・一日防災学校支援や市民向け防災講話等の防災教育を実施し、地域防災力向上の推進に取り組んだ。
- ・災害情報手段の整備(既存：メール・電話配信サービス登録啓発、防災行政無線整備等)に取り組んだ。

### 実施内容

#### ①一日防災学校支援 (5校 延べ7回 618人参加)



#### ②出前講座 (13回開催 延べ437人参加)



### 実施内容

- ①情報配信サービス登録啓蒙 (R7.12.31現在)(前年比)
- |              |            |
|--------------|------------|
| 登録制メール登録者数   | 351人(45人増) |
| 電話配信サービス登録者数 | 99人(28人増)  |



- ②デジタル同報系防災行政無線整備 (R8年度運用開始)
- ・避難所4箇所(4箇所)に屋外拡声子局整備
  - ・要配慮者世帯、要配慮者利用施設等への配付用に戸別受信機100台整備

令和8年度についても、減災に向けた防災教育の実施や災害情報配信サービスの登録率向上を図るとともに、新たな一手として、住民自ら危険性を把握できるよう水害リスクの可視化に取り組むなど、地域防災力を高める。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について	実施主体：美唄市
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項	
対策内容	水害コミュニティタイムラインの作成を支援		

## 令和7年度 取組内容

- ・自主防災組織等(4団体)に対してコミュニティタイムラインの作成支援を実施し、地域内での「逃げ遅れゼロ」を目指す共助の取り組みの推進を図った。

### 実施内容

- ・地域情報を把握するためのヒアリング(1回実施)



### 実施内容

- ・行動計画作成のワークショップ(2回実施)



令和8年度についても、コミュニティタイムラインの作成支援を行うとともに、既に作成したコミュニティタイムラインに基づいた防災訓練等を実施することで、ブラッシュアップを図り、一層の地域防災力向上に取り組む。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

実施主体：三笠市

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	防災訓練・防災教育の推進	

## 令和7年度 取組内容

- ・ 小中学校、高校を対象とした防災教育を実施
- ・ 町内会、自主防災組織等を対象とした防災講習会を実施

防災講習会



少年消防クラブ「避難所運営ゲームDoはぐ」



令和8年度についても、引き続き、児童生徒を対象とした防災教育や、町内会・自主防災組織等を対象とした防災講習会を継続して実施し、市民の防災意識の向上を図る。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	要配慮者利用施設を対象とした避難訓練シナリオの作成	

実施主体：三笠市

## 令和7年度 取組内容

- 配慮者利用施設の避難訓練をより実践的にするため、岩見沢河川事務所計画課と連携し、浸水深、浸水継続時間、避難発令、避難に要する時間など、訓練に必要な情報の取りまとめを行った。

### 避難訓練シナリオ

### テキスト

#### 【三笠市】要配慮者利用施設（ひだまりの里）を対象とした避難訓練シナリオの作成支援

##### 「避難訓練シナリオの作成支援」の概要

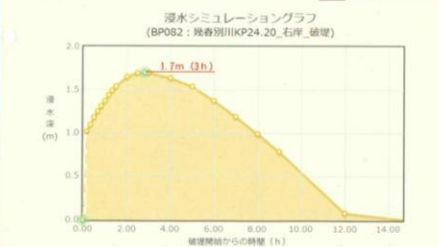
ひだまりの里の避難訓練をより実践的にするため、現実的な訓練シナリオの作成が必要と考えています。本年度は浸水深・浸水継続時間・避難発令・避難に要する時間などの訓練シナリオに必要な情報の取りまとめを行いました。

##### 情報の取りまとめ内容

【浸水リスク情報】  
「ひだまりの里」に隣接する浸水リスク情報（幾春別川による出水）の取りまとめを実施  
対象箇所：想定最大規模の降雨（72時間総雨量439mm）  
決壊位置：幾春別川KP24.25年（ひだまりの里から最も近く、避難で浸水する箇所）  
情報：想定し得る最大規模の降雨が発生した際の浸水までの時間、浸水継続時間、最大浸水範囲、浸水範囲の時間変化

表1 浸水リスク情報まとめ（幾春別川 KP24.22決壊時）

決壊箇所	浸水開始時刻	浸水継続時間	最大浸水深	浸水範囲
KP24.2	0:20(0時)	14.8	1.70	1.38



【各機関より共有される情報】  
危機を守るため、高齢者等避難が発令されたタイミングで利用者を避難させる必要があります。

レベル 5 4 3 2 1

5 浸水の発生  
浸水深1.7m

4 浸水継続時間  
浸水深1.7m

3 避難指示の発令  
浸水深1.7m

2 避難開始  
浸水深1.7m

1 避難完了

【参考資料】避難に要する時間（リードタイム）の想定  
訓練精度の向上を目的として、避難に要する時間を想定した。想定時間は「高齢者施設での転送避難における所要時間分布に関する研究(神戸大学 藤)」を参考に、避難準備や移動にかかる時間を算出した。

表2 算定した想定時間の一覧 表3 リードタイム (最大)

【算定条件】87年9月の訓練を参考に7名（うち通所者2名）とし、歩行者と車椅子の割合については、最も危険な場合を考え、歩行者7名（通所者）、車椅子3名（通所者以外）とした。

ひだまりの里は堤防決壊時に10分程度で浸水するリスクがあります。また、避難は高齢者等避難の発令タイミングで確実に行う必要があります。時間は最大3時間22分と想定し、これら避難上の制約条件とe-マップ F12)を参考に訓練を計画・実行し、実際の避難準備や移動に掛かる時間を把握しましょう。

#### 要配慮者利用施設における避難確保に関するeラーニングテキスト

#### 要配慮者利用施設における避難確保に関する研修資料

～利用者の命、救えますか～

令和4年3月  
国土交通省水管理・国土保全局  
河川環境課・砂防計画課

令和8年度については、要配慮者利用施設に対し、シナリオやテキストを活用した避難訓練の支援を行う。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	・小・中学校における防災教室 ・第3自治区住民対象の防災避難等訓練	

実施主体：  
新篠津村

## 令和7年度 取組内容

- ・小・中学校で避難所運営訓練(Doはぐ)及び段ボールベッドの組立体験を実施。
- ・第3自治区の住民を対象に防災避難訓練及び防災講演会、避難所設営訓練を実施。

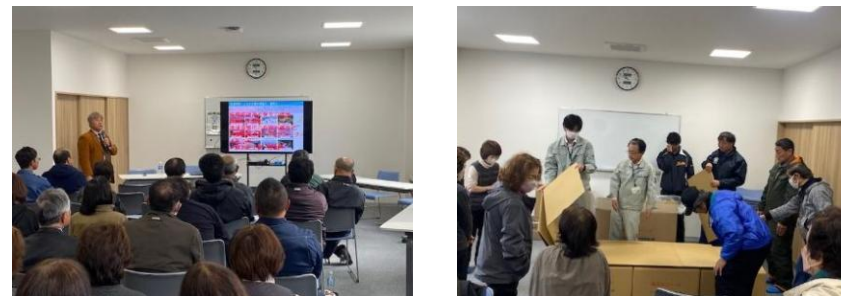
### 実施内容

・防災教室を通じて実践的に学び、災害時の行動をより具体的にイメージしてもらうことを目的として行った。



### 実施内容

・石狩川の氾濫を想定した避難訓練を実施。避難後には防災講演会、避難所設営訓練等を行い、防災意識の向上を図った。



令和8年度においても、小・中学校の防災教室及び住民を対象とした防災避難訓練等を継続的に実施し、防災に対する理解を深めるとともに、平時から防災意識の向上を図っていく。

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式(案)

実施主体：月形町

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	町民を対象とした防災教育の推進	

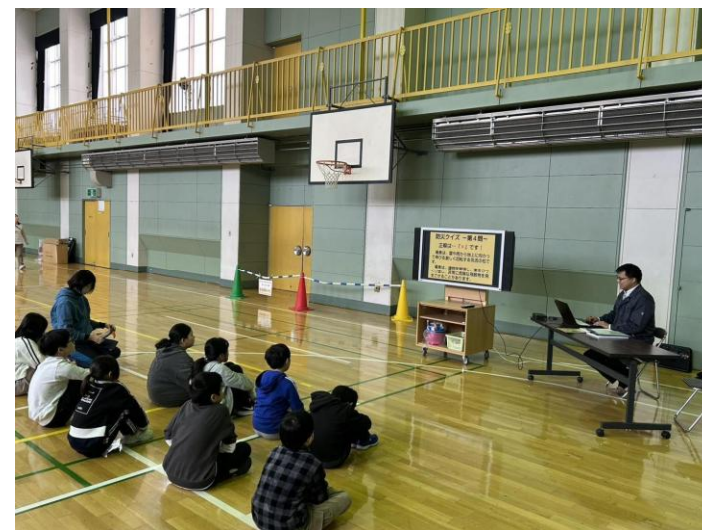
## ■令和7年度 取組内容

・令和7年度においては、継続実施している町内教育施設等の防災訓練への協力により、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を図った。

10月5日 月形町総合防災訓練



11月19日 月形小学校 防災学習



## 次年度に向けた予定

- ・町内教育施設及び町内行政区に対しての防災講話、防災訓練を断続的に実施
- ・タイムラインの確認及び修正

空知総合振興局  
札幌建設管理部

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫を未然に防ぐ対策
対策内容	堤防整備、河道掘削及び河道内伐木を実施	

実施主体：  
札幌建設管理部  
(幾春別川外地域  
部会)

## 令和7年度 取組内容

- R7年度においては、継続実施していた利根別川河道掘削、ポイントネ川の遊水池整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

利根別川(実施後)



ポイントネ川(実施中)



## 次年度に向けた予定

- 次年度以降も引き続き、継続実施している利根別川等の河道掘削等を実施する。

空知総合振興局 産業振興部

- ・整備課

- ・東部耕地出張所

石狩振興局 産業振興課

- ・整備課

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	排水路の整備や田んぼダムの取り組み	

実施主体：空知総合振興局整備課

(千歳川外、夕張川上流、幾春別川外、雨竜川外、空知川) 共通

## 令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を実施

### 農業用水利施設(排水路)の整備



### 田んぼの整備



令和8年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理(田畑の整備)を推進

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	農業農村整備事業の実施、水田の貯留機能向上	

実施主体：  
石狩振興局整備課  
(幾春別川外部会)

## 令和7年度 取組内容

- 農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを新篠津村で実施



空知総合振興局 産業振興部

- ・林務課

- ・森林室

石狩振興局 産業振興部

- ・林務課

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制のための森林整備	

実施主体：北海道空知  
総合振興局産業振興部  
林務課

(幾春別川外地域部会)

## ■令和7年度 取組内容

- ・ 岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施

森林整備事業(植栽)【美唄市】



森林整備事業(下刈)【月形町】



## ■次年度以降の取り組み(予定)

- ・ 要望のあった市町において森林整備事業(間伐・植栽等)を実施する予定

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：  
空知総合振興局森林室  
(幾春別川外地域部会)

## 令和7年度 取組内容

- ・東美唄保育工事(美唄市)を実施
- ・ポンベツ保育工事(月形町)を実施
- ・幌内本沢保育工事(三笠市)を実施
- ・空知団地育林事業を美唄市、月形町にて実施
- ・岩見沢地区ほか森林整備事業を岩見沢市、三笠市にて実施



溪間工(治山ダム等)の実施状況



植栽の実施状況



山腹工(法枠工等)の実施状況



間伐の実施状況

## 次年度に向けた予定 など

- ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施
- ・森林整備事業(間伐、植栽等)の計画的な実施

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：  
石狩振興局林務課  
(幾春別川外地域部会)

## 令和7年度 取組内容

- 新篠津村において、治山事業により下刈等を実施したことで、山地保水力強化による「流域治水」の推進を図った。

実施前



雑草等により植栽木に必要な日光や養分を奪われ成長が阻害される

実施後



下刈を行うことで植栽木の健全な成長を促し森林の多面的機能の高度発揮を目指す

## 次年度に向けた予定

- 森林の荒廃状況等による優先度に基づき、治山事業を着実に推進するほか、森林整備事業を計画的に実施する。

札幌管区气象台

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	被害の対象を減少させるための対策	平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
対策内容	市民等を対象とした防災教育の実施、防災意識の啓発	

実施主体：  
札幌管区气象台  
(幾春別川外地域部会)

## ■令和7年度 取組内容

### ①平時における地域防災支援

防災講座や防災訓練での講演や自治体との懇談をととした防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動、防災訓練での気象シナリオ作成協力

- ・石狩振興局、空知総合振興局及び関係する全5市町村（新篠津村、岩見沢市・美唄市・三笠市・月形町）と、個別の懇談を実施した。
- ・空知地方防災担当者会議において市町防災担当職員等を対象とした「気象防災ワークショップ」を実施した。
- ・新篠津村での防災講演を実施した。

### ②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・大雨時に、警報・注意報など、適時的確な防災気象情報の発信を行った。
- ・電話による自治体等からの問合せに対して、のべ43回の気象説明を実施した（12/31現在）。

## 札幌管区气象台の地域防災支援の取り組み

平時



担当チーム（あなたの町の予報官）が市町村と緊密な連携関係を構築

- ・講演やワークショップによる防災担当者や住民への啓発
- ・地域防災計画修正や防災訓練への協力



非常時

- ・ホットラインでの気象解説による市町村等の防災対応への助言
- ・市町村等へのJETT派遣での気象説明等による現地対応への協力



後日



- ・関係機関と災害時等の対応を振り返り、平時・非常時の業務へフィードバック

## ■次年度に向けた予定

### ①平時における地域防災支援

- ・令和8年出水期からの新たな防災気象情報について、防災関係機関、流域市町防災担当者や住民へ周知・啓発を行う。
- ・これまでの講話や訓練における防災展示等の取組に加え、流域市町防災担当者や住民を対象としたワークショップの実施等、「我が事感をもった」実践的な防災啓発をととして、防災気象情報の利活用に関する普及・啓発の活動を一層推し進める。

### ②災害発生時、または発生が見込まれる場合の地域防災支援

- ・これまでの取組に加え、市町村等へのJETT（気象庁防災対応支援チーム）の迅速な派遣や、ホットラインでの詳細な気象解説による防災対応への助言。
- ・事後に関係機関と実施する「振り返り」による防災対応の取組の更なる改善。

空知森林管理署

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知  
森林管理署  
(幾春別川部会)

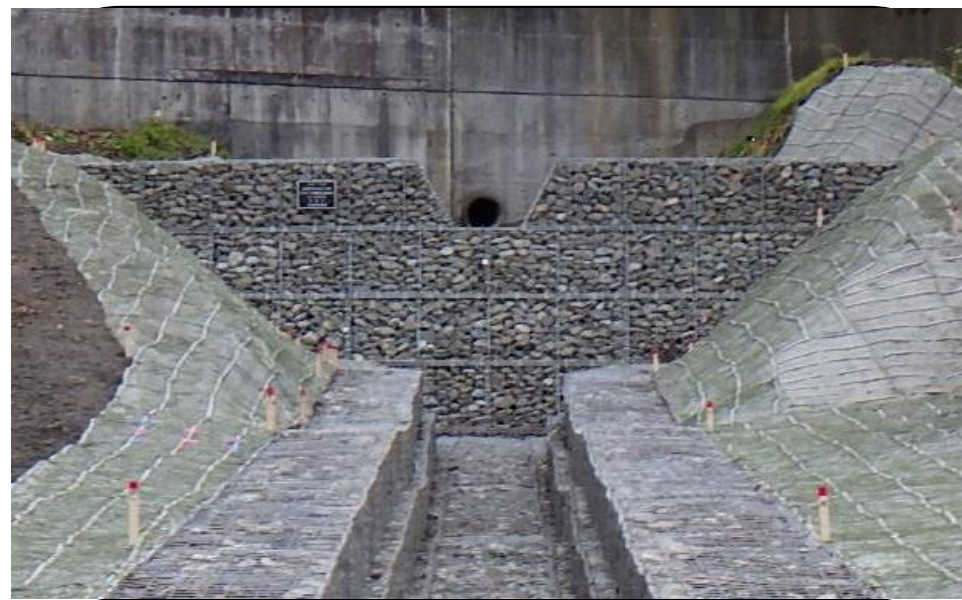
## 令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、西桂沢治山工事(床固工1基、流路工51m)を実施し「流域治水」の推進を図った。

床固工実施前



床固工実施後



次年度に向けた予定 など  
西桂沢治山工事(流路工25m予定)

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	山地災害から流域を守る治山対策	

実施主体：空知  
森林管理署  
(幾春別川部会)

## ■令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、西桂沢治山工事(鋼製床固工1基、流路工51m)を実施し「流域治水」の推進を図った。

流路工実施前



流路工実施後



次年度に向けた予定 など  
西桂沢治山工事(流路工25m予定)

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知  
森林管理署  
(幾春別川部会)

## 令和7年度 取組内容

- ・ R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

つる切実施前



つる切実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	下刈・つる切による森林整備	

実施主体：空知  
森林管理署  
(幾春別川部会)

## 令和7年度 取組内容

- R7年度においては、森林整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

下刈実施前



下刈実施後



次年度に向けた予定 など

次年度に向けて、引き続き森林整備事業を実施し森林の公益的機能の確保に努める

東北北海道整備局  
北海道水源林整備事務所

# 「減災対策協議会」・「流域治水協議会」のフォローアップ様式

	流域治水プロジェクト2.0	概ね5年で実施する取組について
対策区分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	—
対策内容	森林の水源涵養機能維持・向上のための森林整備	

実施主体：  
森林整備センター  
(幾春別川外地域部会)

- 令和7年度 取組内容
- ・ 流域治水に資する植栽等の森林整備を実施。

植栽実施前

植栽実施後



次年度以降も植栽等の森林整備を計画的に実施